

● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
上記基準日 毎年3月31日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

配当金受領株主確定日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
公告掲載紙 日本経済新聞
株主名簿管理人 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階)
東京証券代行株式会社
同事務取扱場所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階)
東京証券代行株式会社 本店
(お問い合わせ先) ☎ 0120-49-7009
同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

〔郵便物送付先〕 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目7番1号
〔連絡先〕 東京証券代行株式会社 代行本部
(お問い合わせ先) ☎ 0120-49-7009

(お知らせ)
当社の株主名簿管理人である東京証券代行株式会社は、平成19年11月26日をもって所在地を「東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階)」に移転いたしました。なお、ご郵送によるお手続きをなされる場合には上記郵便物送付先へご送付くださいますようお願い申し上げます。

●お問い合わせ先

パラマウントベッド株式会社 広報室
〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
TEL：(03) 3648-1111 (大代) FAX：(03) 3648-3662
http://www.paramount.co.jp



As 第60期 中間報告書
平成19年4月1日～平成19年9月30日
Human,
for Human



パラマウントベッド株式会社

先進の技術とやさしさで、 快適なヘルスケア環境を創造します。

(企業理念)

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ここに当社第60期中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の
事業の概況と決算をご報告いたします。



Q 当中間期の業績(連結)は、どのように評価されますか。

A 売上高につきましては、昨年4月実施の介護保険の
制度改正以降、国内は事業環境の激変により厳しい状
況がつづいておりますが、グローバル化の一環で昨年買収し
たフランスのコロナ・メディカル社の売上が寄与し、前年同
期に比べ5.0%の増収となりました。

一方、営業損益は、前年同期は株式公開後初の営業損失を
余儀なくされましたが、前期下期から実施しているパラマウ
ントベッドの経営合理化策の効果が出るなどして、黒字を確
保できました。経常利益及び中間純利益は、前年大幅に増加
した金融収支が縮小したこともあって、減益となりました。

Statement: As Human, for Human

Q 米国最大の医療用ベッドメーカーであるヒルロム
社と販売提携をしましたが、どのような効果を見
込んでいますか。(P5トピックス参照)

A 今回の販売提携は、ヒルロム社から当社製品を
米国で販売できないかと打診されたのが発端です。
同社は、米国におけるポストアキュートケア(高齢者施
設・在宅)市場における事業拡大を目指し、世界各国の
メーカーを調査した結果、当社製品を高く評価し、当社
に提携を申し入れたのです。提携の議論が進むなかで、
両社における製品の相互補完が提携の基本スタンスとな
り、まず日本におけるヒルロム社製品の販売が先に決ま
りました。現在は、米国における当社製品の販売につい
て検討が進められています。

急性期医療分野で高い製品開発力を持つヒルロム社と、
高齢者施設から在宅介護分野まで、幅広い領域で優れた
製品開発力を持つ当社とが、お互いの強みを生かし日米
両市場での連携を広げていきたいと考えております。

Q サンネットワーク株式会社を10月2日付で子会
社化しましたが、その経緯とねらいをお聞かせく
ださい。

A サンネットワーク株式会社(本社：静岡市)は、
介護用ベッドなど福祉用具をレンタル事業者に卸
すことを業とし、従来から当社の主要な販売先の一社で
あります。同社は、急激な事業拡大により資金不足に陥
り、当社に経営支援を要請。当社は、同社の第三者割当
増資を引き受けることで、このたび子会社といたしました。

今後は、両社が連携し、製品の開発・販売に資する情
報の共有化を推進したり、内外の優れた福祉用具の取り
扱いを始めるなどして、業績の向上を図り、当社グルー
プの企業価値を高めていきたいと考えております。

尿失禁と福祉用具の活用について。自動採尿器「スカットク リーン」で解決

多くの高齢者が抱える問題に尿失禁があります。尿失禁は生命に直結するようなトラブルではなく、また、人に相談しにくいために、積極的な治療やケアが行われないケースが見られます。しかし、適切な排泄ケアが行われないと日常生活動作能力（ADL）は低下しやすく、自信喪失につながることもあります。また、高齢者は頻尿になりやすく、たとえ深夜でも尿意は起きるので、介護者の負担も増加します。

尿失禁の4タイプ

尿失禁の症状は人によってさまざまですが、「機能性尿失禁」、「切迫性尿失禁」、「腹圧性尿失禁」、「溢流性尿失禁」という4つのタイプに分類されます。（表1 参照）

表 1：尿失禁のタイプ

機能性尿失禁

認知の低下やマヒのために、トイレに行くことができない。

切迫性尿失禁

膀胱が過敏になっており、尿意を感じると我慢できない。

腹圧性尿失禁

せきやくしゃみなどでお腹に力をいれると尿もれする。女性に多い。

溢流性尿失禁

尿が出にくいのにダラダラと常にもれている。男性に多い。

このうち、「切迫性」、「腹圧性」、「溢流性」は一般に運動や治療によって改善を図りますが、それでも治療困難なケースや「機能性尿失禁」の場合は、福祉用具の活用や環境整備によって問題を解決します。

「機能性尿失禁」の問題

「機能性尿失禁」が抱える問題とは具体的にどのようなものでしょうか。例えば「トイレが遠くて間に合わない」、「トイレに行こうとして転んでしまう」、「便座に移ることができない」、「家族を呼ぶのに気が引ける」などが挙げられます。また、介護をする方の負担には「トイレに連れ出すなどの移動介助」、「排尿都度の、しびんの後始末」、「夜間介助による寝不足」、「しびんからこぼした場合の寝具の洗濯」などが考えられます。

尿失禁に適した福祉用具

尿失禁に適した福祉用具には「ポータブルトイレ」や「おむつ」、介護保険の特定福祉用具に該当する「特殊尿器」などがあります。介護力の有無や時間帯に応じて、複数の用具を使い分けます。

「ポータブルトイレ」は尿意があり、起きて乗り移りができる方に適しています。通常のトイレに近

い感覚で排泄できることがメリットです。

「特殊尿器」は尿意があり、ポータブルトイレなどへの移動が困難な方に適します。衣類着脱とレシーバーをあてる動作、適切な排尿姿勢をとること

ができれば、自力での排尿が可能で、ベッドや車いすにしながら、おむつやしびんより自立した排尿を行うことができます。

自動採尿器「スカットクリーン」をフルモデルチェンジ

パラマウントベッドでは「特殊尿器」にあたる自動採尿器「スカットクリーン」を8年ぶりにフルモデルチェンジし、10月1日に発売しました。

「スカットクリーン」は、レシーバーをあてがい排尿するとセンサーが尿を感知し、モーターが作動して尿を自動吸引します。寝たまま、座ったままでも使用できるので、脳血管障害やリウマチなどの疾患により、尿意はありながらトイレへの移動に時間のかかる方や介助が必要な方が、おむつに頼らずに、より自立した形で排尿を行えるよう支援します。

「スカットクリーン」は、介護保険をご利用の場合、総額の1割の負担で購入できます。

希望小売価格

KW-65MS 男性用セット81,000円（非課税）

KW-65WS 女性用セット84,000円（非課税）



スカットクリーン男性用セット



スカットクリーン女性用セット

米ヒルロム社と販売提携 ～製品ラインアップを相互補完へ～

当社は、医療用ベッドの米国トップメーカー、ヒルロム社と7月24日、米インディアナ州のヒルロム社本社にて、日本における同社製品の販売契約に調印し、9月1日から販売を開始しました。取り扱い品目は、ベッド、マットレス、ストレッチャーで、今後、追加を検討していく予定です。



ヒルロム社の製品

2007年度グッドデザイン賞を受賞 ～電動アジャスタブルベッド「INTIME7000シリーズ」、新生児ベッド「KB-115、KB-116」～



KB-116

KB-115



INTIME7000シリーズ

電動アジャスタブルベッド「INTIME7000シリーズ」と新生児ベッド「KB-115、KB-116」が10月1日、「2007年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

審査の過程において、「INTIME7000シリーズ」では「使いやすさ・親切さがある」、「次世代のライフスタイルを創造している」などの項目、「KB-115、KB-116」では「安全の配慮がなされている」、「斬新な造形表現がなされている」などの項目で評価を得ました。

ヒルロム社の概要

創 業：1929年
売 上 高：1,288.3百万ドル（約1,546億円）2006年度
従業員数：6,500名
所 在 地：米国インディアナ州ベイツビル

在宅介護の専門サイトを開設

当社は、在宅介護の専門サイト「在宅介護の第一歩」を6月に開設しました。ユーザーにとって役に立つ情報の提供を目指すとともに、介護に関する専門知識が少ない方がご覧になることを考え、より分かりやすい表現を心がけました。

例えば、介護保険を利用した福祉用具のレンタル・購入の方法等については、Q&A形式できめ細かく説明。また、介護用ベッドの選び方や初めて介護用ベッドを利用する際のポイントなどを身体機能別にイラスト等を使って解説しています。各地のショールームについても、地図やアクセス方法を充実させ、展示内容なども確認できるようにしています。



※「在宅介護の第一歩」（<http://www.zaitakucare.jp/>）には、パラマウントベッド・ホームページ（<http://www.paramount.co.jp/>）のバナーからも入ることができます。

介護用ベッドのリサイクル・レンタル事業をスタート ～利用者の安全性に配慮し、資源を有効活用～

自社製介護用ベッドを下取りして再生し、メーカー保証付きでレンタルする事業が10月1日、スタートしました。目的は、中古品をメーカーが責任を持って整備・メンテナンスすることによる安全性の向上、リサイクルすることによる資源の有効活用などです。

事業では、まずパラマウントベッドが中古の自社製介護用ベッドを有償（故障品・長期使用品など一部無償）で下取りします。下取りしたベッドのうち再生可能なものについて、洗浄・消毒・修理・検査等を実施して品質を確保。有料老人ホームや高齢者専用賃貸住宅に入居されている方に対して、従来のお取引先（介護保険福祉用具貸与事業者、施設運営会社等）を通じて、新品のマットレスとセットで期間限定でのレンタルをします。契約期間においては、メーカー保証を付けて安心なご利用をサポートします。

契約期間が終了したベッドについては、メーカーとして再度引き取り、資源としてリサイクルすることで、環境に配慮した循環型事業を推進いたします。

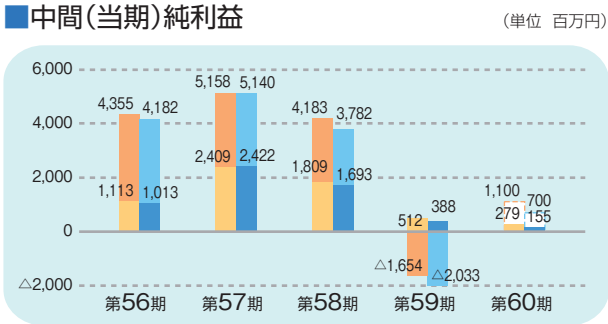
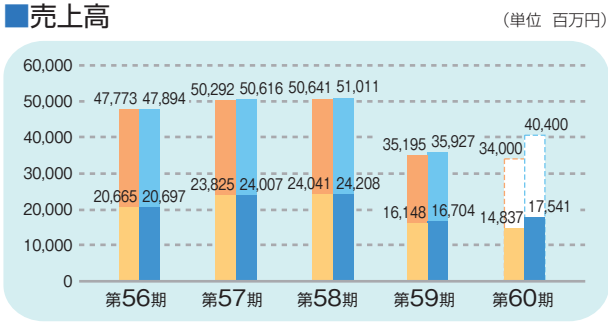
訃報

当社創業者で代表取締役社長、同会長を歴任した木村隆輔が8月4日、永眠いたしました。89歳でした。ここに生前のご厚誼を深謝申し上げます。

密葬は8月7日及び8日、当社主催の「木村隆輔 お別れの会」（ホテルオークラ東京）は9月27日に、それぞれ行われました。

(単位 百万円)						
科 目	期 別	第56期中間 (平成15年9月30日)	第57期中間 (平成16年9月30日)	第58期中間 (平成17年9月30日)	第59期中間 (平成18年9月30日)	第60期中間 (平成19年9月30日)
売上高		20,697	24,007	24,208	16,704	17,541
経常利益		2,186	4,042	3,104	1,119	582
中間純利益		1,013	2,422	1,693	388	155
一株当たり中間純利益 (円)		32.26	77.12	53.91	12.78	5.12
総資産		72,193	78,736	82,436	78,987	74,459
純資産		61,894	67,496	70,785	68,672	64,640

注) 連結ベースの数値で表示しております。



■ 単体中間期 ■ 単体通期 ■ 連結中間期 ■ 連結通期 □ 単体通期見込 □ 連結通期見込

当医療業界におきましては、2012年度末までに予定されている療養病床の大幅削減の受け皿として、医療機能強化型老人保健施設の創設をはじめ同病床の転換促進策が明らかにされたほか、都道府県が中長期的な地域のケア体制整備構想を今秋策定するにあたり、厚生労働省からその基本指針が示されました。

一方、高齢者福祉分野におきましては、介護サービスの不正に対し介護保険法による初の連座制が適用されたことで、介護サービス業界は再編の波に洗われました。また福祉用具につきましては、保険給付の見直しを行うための有識者による検討会が開催されました。

このような事業環境のなかで、当社グループは業績の向上を図るため、設備投資や研究開発などに努めました。

まず、主な設備投資といたしましては、国内工場の集約・再編の一環として、主力の千葉工場の増改築を行うとともに、新塗装ラインなど諸設備の仕様を決定いたしました。

製品の開発・販売面におきましては、施設向け高級電動ベッド「SO-7000」を発売したほか、8年ぶりに自動採尿器「スカットクリーン」のフルモデルチェンジを行いました。品揃えを豊富にするため開発した「INTIME3200」シリーズとともに10月1日に発売いたしました。このほか来年の製品化を目指し、睡眠判定システム「眠りスキャン」を開発いたしました。

新規事業といたしまして、福祉用具レンタル卸業のサンネットワーク株式会社（本社：静岡市）の子会社化を決定いたしました。同社は10月2日付で当社グループの一員となりましたが、当社製品だけでなく内外の優れた福祉用具を取り扱うことにより、相乗効果を発揮し当社グループの価値向上に貢献してまいります。

また製品ラインアップの相互補完を図るため、米国の病院用ベッドのトップメーカーであるHill-Rom（ヒルロム社）と販売提携し、ICUベッドなど同社製品の一部について日本国内で販売活動を始めました。現在、当社製品の米国における販売について検討を進めているところです。

海外展開におきましては、メキシコの公的病院向け大口受注が決まるなど販売地域が拡大しているほか、前期に子会社化したフランスのコロナ・メディカル社の業績が当期からフルに連結しています。

当中間連結会計期間の業績につきましては、まずユーザー別売上（単体ベース）を見ますと、前期につづき今後の制度改革の行方を睨んで設備投資を手控えた医療施設が多かったことなどから、施設向け全体では前年同期に比べ11.4%減少いたしました。一方、在宅向けは、前期の介護保険の制度改革による市場の急激な縮小を経て、ようやく底這い状況から脱しつつあり、同1.1%増加いたしました。品目別売上高につきましては、右グラフのとおりであります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、前年同期比8億37百万円増(5.0%増)の175億41百万円となりました。

利益につきましては、前期に実施した合理化策が奏効し、営業利益は4億12百万円（前年同期3億15百万円の損失）となりました。経常利益は、営業損益が黒字化したものの前年同期に大幅に増加した金融収益が縮小したため、前年同期比48.0%減の5億82百万円となりました。また中間純利益につきましては、同59.9%減の1億55百万円となりました。

また、キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

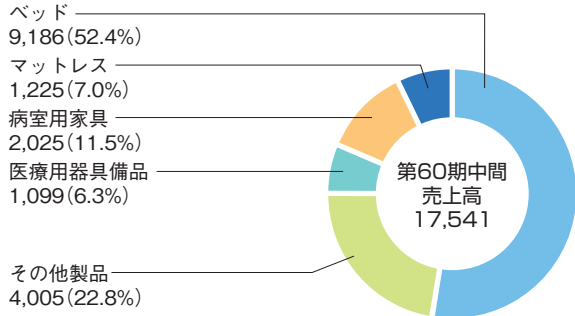
営業活動の結果、増加した現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は50億69百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益5億63百万円、減価償却費8億66百万円、売上債権の減少額46億90百万円等の増加と、仕入債務の減少額20億74百万円等の減少によるものであります。

投資活動の結果、減少した資金は15億23百万円となりました。これは主に、有価証券、投資有価証券の取得額45億63百万円、有形固定資産の取得額11億89百万円等の減少と、有価証券、投資有価証券の売却額40億48百万円の増加によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は6億33百万円となりました。これは主に、配当金の支払額7億60百万円によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ28億40百万円増加し132億67百万円となりました。

■品目別売上高 (単位 百万円)





中間連結貸借対照表（要旨）

POINT・1

当社グループの業績には季節変動があり、毎年第4四半期の売上が最もウエイトが高くなる関係上、前期末時点の残高が大きくなっております。

POINT・2

主な設備投資といたしましては、国内工場の集約・再編の一環として、主力の千葉工場の増改築を行うとともに、新塗装ラインなど諸設備の仕様を決定いたしました。

(単位 百万円)

Table with 7 columns: 科目, 期別, 前中間期, 当中間期, 前期. Rows include 流動資産, 現金及び預金, 受取手形及び売掛金, 有価証券, 固定資産, 有形固定資産, 無形固定資産, 投資その他の資産, 資産合計, 流動負債, 買掛金, 固定負債, 負債合計, 株主資本, 資本金, 資本剰余金, 利益剰余金, 自己株式, 評価・換算差額等, 少数株主持分, 純資産合計, 負債純資産合計.



中間連結損益計算書（要旨）

POINT・3

売上高は、前期に子会社化したフランスのコロナ・メディカル社の業績が寄与し、前中間期に比べ5.0%増加いたしました。

POINT・4

営業利益は、前期に実施した合理化策が奏効し、黒字化いたしました。経常利益は、前年同期に大幅に増加した金融収益が縮小したため、前年同期比48.0%減少いたしました。

(単位 百万円)

Table with 7 columns: 科目, 期別, 前中間期, 当中間期, 前期. Rows include 売上高, 売上原価, 売上総利益, 販売費及び一般管理費, 営業利益(△損失), 営業外収益, 営業外費用, 経常利益, 特別利益, 特別損失, 税金等調整前中間(当期)純利益(△損失), 法人税、住民税及び事業税, 法人税等調整額, 少数株主損失(△利益), 中間(当期)純利益(△損失).



中間連結株主資本等変動計算書（要旨）

当中間連結会計期間（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）（単位 百万円）

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計		
平成19年3月31日残高	6,591	7,276	53,783	△3,533	64,118	1,130	161	1,291	100	65,509
当中間期変動額										
剰余金の配当	－	－	△ 760	－	△ 760	－	－	－	－	△ 760
中間純利益	－	－	155	－	155	－	－	－	－	155
自己株式の取得	－	－	－	△ 2	△ 2	－	－	－	－	△ 2
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	－	－	－	－	－	△ 283	10	△ 273	10	△ 262
当中間期変動額合計	－	－	△ 604	△ 2	△ 606	△ 283	10	△ 273	10	△ 869
平成19年9月30日残高	6,591	7,276	53,179	△3,535	63,511	846	171	1,017	111	64,640



中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位 百万円）

科 目	期 別	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,688	5,069	△ 1,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	738	△ 1,523	△ 1,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	762	△ 633	△ 1,525
現金及び現金同等物に係る換算差額		28	△ 71	55
現金及び現金同等物の増減額		1,216	2,840	△ 4,820
現金及び現金同等物の期首残高		15,247	10,426	15,247
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		16,463	13,267	10,426



中間単体貸借対照表（要旨）

（単位 百万円）

科 目	期 別	前中間期 (平成18年9月30日現在)	当中間期 (平成19年9月30日現在)	前 期 (平成19年3月31日現在)
流動資産		36,692	30,468	33,828
固定資産		41,984	41,684	40,520
資産合計		78,676	72,153	74,348
流動負債		7,923	5,516	7,062
固定負債		2,110	1,718	1,601
負債合計		10,034	7,234	8,663
株主資本		67,484	64,072	64,555
資本金		6,591	6,591	6,591
資本剰余金		7,276	7,276	7,276
利益剰余金		57,148	53,740	54,220
自己株式	△	3,531	△ 3,535	△ 3,533
評価・換算差額等		1,157	846	1,130
その他有価証券評価差額金		1,157	846	1,130
純資産合計		68,642	64,918	65,685
負債純資産合計		78,676	72,153	74,348



中間単体株主資本等変動計算書（要旨）

当中間会計期間（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）（単位 百万円）

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	6,591	7,276	54,220	△ 3,533	64,555	1,130	1,130	65,685
当中間期変動額								
剰余金の配当	－	－	△ 760	－	△ 760	－	－	△ 760
中間純利益	－	－	279	－	279	－	－	279
自己株式の取得	－	－	－	△ 2	△ 2	－	－	△ 2
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	－	－	－	－	－	△ 283	△ 283	△ 283
当中間期変動額合計	－	－	△ 480	△ 2	△ 482	△ 283	△ 283	△ 766
平成19年9月30日残高	6,591	7,276	53,740	△ 3,535	64,072	846	846	64,918



株式の状況（平成19年9月30日現在）

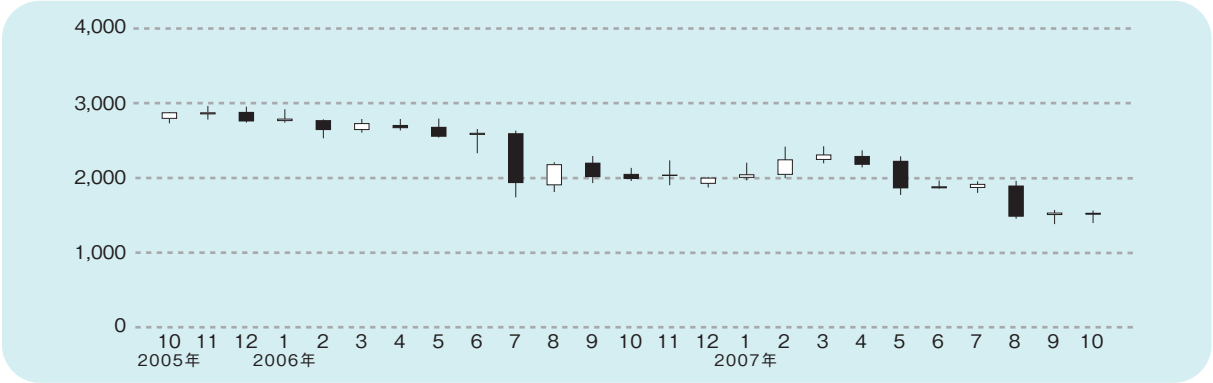
発行可能株式総数	126,000,000株
発行済株式の総数	31,682,526株
株主数	17,927名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
	(千株)	(%)
木村興産株式会社	6,607	21.8
木村憲司	2,535	8.4
木村恭介	1,913	6.3
株式会社みずほ銀行	1,203	4.0
木村通秀	1,195	3.9
木村隆輔	669	2.2
財団法人木村看護教育振興財団	610	2.0
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー)	526	1.7
サブ アカウント アメリカン クライアント		
タム ツー	516	1.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	512	1.7

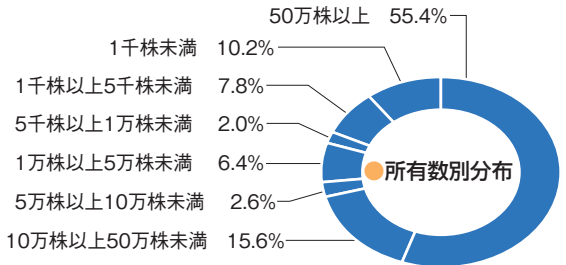
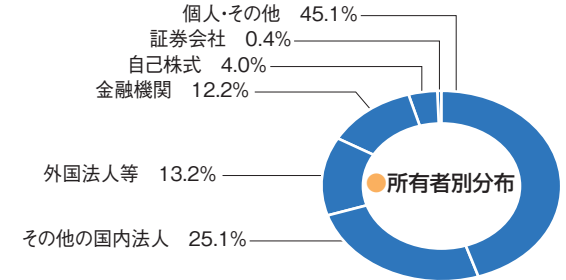
(注) 1. 上記株主木村隆輔氏は、平成19年8月4日逝去されましたが、平成19年9月30日現在名義書換未了です。

2. 当社は自己株式1,263千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株価チャート



株式の分布状況



会社概要

商号	パラマウントベッド株式会社
本社	〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号 TEL : (03) 3648-1111 (大代)
設立	1950年5月
資本金	65億9,132万円
従業員数	813名
事業内容	●医療用ベッド及びマットレス並びに病室用家具など病棟看護製品の製造及び販売 ●在宅福祉用ベッド並びにマットレスの製造及び販売

事業所・子会社一覧

・事業所

- 国内
- 本社
〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
TEL : (03) 3648-1111 (大代) 営業部直通 : (03) 3648-1171 (代)
FAX : (03) 3648-3662
- 札幌支店
〒060-0062 北海道札幌市中央区南二条西13丁目318番地11
TEL : (011) 271-1181 (代) FAX : (011) 271-7282
- 仙台支店
〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町2丁目3番地の3
TEL : (022) 239-5211 (代) FAX : (022) 239-5217
- さいたま支店
〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合9丁目4番7号
TEL : (048) 852-0707 (代) FAX : (048) 852-0701
- 横浜支店
〒194-0004 東京都町田市鶴間1715番地1
TEL : (042) 795-8800 (代) FAX : (042) 788-7019
- 名古屋支店 / INTIME名古屋
〒461-0001 愛知県名古屋市中区泉1丁目20番17号
(名古屋支店) TEL : (052) 963-0600 (代) FAX : (052) 963-0601
(INTIME名古屋) TEL : (052) 963-6800 (代) FAX : (052) 963-6801
- 大阪支店
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀2丁目3番33号
TEL : (06) 6443-8791 (代) FAX : (06) 6443-9833
- 広島支店
〒733-0011 広島県広島市西区横川町3丁目8番5号
TEL : (082) 293-1311 (代) FAX : (082) 293-1393
- 高松支店
〒761-8031 香川県高松市郷東町223番1
TEL : (087) 881-8800 (代) FAX : (087) 870-5151
- 福岡支店 / INTIME福岡
〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号
(福岡支店) TEL : (092) 461-1131 (代) FAX : (092) 461-1138
(INTIME福岡) TEL : (092) 461-0666 (代) FAX : (092) 461-0667
- INTIME京橋
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目6番1号三井住友海上テラコビル1階
TEL : (03) 5250-1515 (代) FAX : (03) 5250-1516
- INTIME札幌
〒060-0004 北海道札幌市中央区北四条西5丁目1番地4三井生命札幌共同ビル1階
TEL : (011) 219-8800 (代) FAX : (011) 219-8808
- INTIME心斎橋
〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目13番15号三栄心斎橋ビル1階
TEL : (06) 6245-9021 (代) FAX : (06) 6245-9022

役員

代表取締役社長	木村 憲司
代表取締役副社長	木村 恭介
取締役	木村 通治
取締役	木村 藤忠
取締役	坂本 郁夫
取締役	堀内 俊雄
取締役	堀内 浩克
常勤監査役	関根 忠博
常勤監査役	池田 勝裕
監査役	岡上 悦次
	ゆかり

- 千葉工場
〒289-1306 千葉県山武市白幡2078番地
TEL : (0475) 82-6111 (代) FAX : (0475) 82-4645
- 松尾工場
〒289-1537 千葉県山武市松尾町借毛本郷617番地
TEL : (0479) 86-3331 (代) FAX : (0479) 86-3333
- 大平工場
〒289-1536 千葉県山武市松尾町下之郷690番1号
TEL : (0479) 86-2121 (代) FAX : (0479) 86-2990
- 海外
- 上海事務所
日本ハルマコ有限公司上海事務所
(Shanghai Representative Office)
上海市淮海中路1番柳林大厦1105号
TEL : (86-21) 5383-5111/6111 FAX : (86-21) 5383-7111
- パリ駐在員事務所
パラマウントベッド株式会社パリ駐在員事務所
(Representative Office in Paris)
6, Rue de Remusat, 75016 Paris, France
TEL : (33-6) 09-841-507
- ・子会社
- 国内
- パラテクノ株式会社
〒273-0024 千葉県船橋市海神町南1丁目1648番地7
TEL : (047) 431-0552 (代) FAX : (047) 431-0564
- サンネットワーク株式会社
〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川2丁目2番1号コハラサウスサイドビル4-B
TEL : (054) 203-7711 (代) FAX : (054) 203-7733
- 海外
- PT.PARAMOUNT BED INDONESIA
MM2100 Industrial Town, Block M-1-1,
Export Processing Zone, Cikarang Barat,
Bekasi 17520, Jawa Barat, Indonesia
TEL : (62-21) 8980715 FAX : (62-21) 8980716
- ハルマコ床業 (中国) 有限公司
(PARAMOUNT BED (CHINA) CO., LTD.)
江蘇省無錫市国家高新技術産業開発区A-105地塊 (新梅路)
TEL : (86-510) 8532-3201~3 FAX : (86-510) 8532-3213
- Corona Medical S.A.S.
Z.I. La Planchette-37210 Rochecorbon, France
TEL : (33-2) 47-885-885 FAX : (33-2) 47-885-893